

平成25年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第4回）概要
日時：平成25年11月21日（木） 午前10時から午前11時30分まで
場所：千葉市ビジネス支援センター 会議室1（13階）

[委員等]

石井信代委員長，田中庸恵副委員長，尾崎由紀子委員，高岡正幸委員，森谷英一委員
小西則子委員，石川善昭委員，大木茂委員，関紀子委員，岡根茂委員，佐久間勝彦委員
田鎖美穂委員，齋藤一浩委員，川崎宏薫委員，中村美彦委員

教育次長，教育政策課長，指導課長，教職員課長，教育振興部副参事兼指導課学力向上室長

- 1 開会のことば
- 2 県教育委員会挨拶
- 3 報告

(1) 平成25年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第3回）の概要について

4 協議

(1) 平成27年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について

(2) 今後の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について

5 閉会のことば

【質疑・協議結果】

(1) 平成27年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について，協議を行った。

(2) 今後の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について，協議を行った。

主な意見等は次のとおりである。

- ・ 現行の選抜制度のもとで入学した生徒が卒業するときにアンケート調査を行い，その結果をもう一度検討すべきである。
- ・ 事務局は，他県の選抜制度の変更の状況について，適宜協議会に情報提供してほしい。
- ・ 一本化に踏み切った県については，都市部や地方の背景も参考にすべきである。
- ・ 公私が協調して学校教育の機会をどう保障するのか，そのためにどのような選抜をするのかを基本において議論すべきである。
- ・ 他県の動向等を精査しながら，時間をかけて検討し，数年先にはこうするという方向性を出してほしい。
- ・ 提出書類の在り方や選抜枠，テストの時間等，具体的な運用方法について改善できるものは早急に改善してほしい。
- ・ 一本化を想定した検討では，生徒・保護者が現行制度において感じている安心感を持てるようにすることが必要である。
- ・ 今後の制度の在り方を検討する上で，生徒にとってより良い選抜制度にすることを大事にした協議を忘れてはならない。
- ・ 前期に引き続き後期を受けた生徒のどの位が合格したか等も含め，来年は全校で前期選抜不合格者の同一学校・学科への再受検率を調査してほしい。
- ・ 今の制度は定員のところに問題がある。
- ・ 本県ならではの多様性や努力した生徒を評価することを勘案し，今後の制度について議論してほしい。
- ・ 高校で受検業務をしていて，生徒も学校も大変なので一本化がいいと思っていたが，保護者や生徒はそう思っていないことがアンケートではっきりした。
- ・ 選抜制度を検討する際には，県立学校改革推進プランとの関連も考慮すべきである。
- ・ 中学校としては志願理由書や定員枠などを早急に改善してほしい。
- ・ 現時点では，アンケート結果にある生徒・保護者の思いに軸足を置いて協議すべきである。
- ・ 日程等も含め，子どもたちに負担をかけないということを大前提にすべきである。

なお，本協議会での協議を踏まえ，平成27年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程について，事務局で作成した案を12月開催の千葉県教育委員会会議で議案として提案し，審議・決定後，公表することについて合意された。